

「実践発表交流会」報告

熊本県立荒尾支援学校

1 本校の研究の概要

本校では、平成23年度以降キャリア教育の視点で研究活動に取り組んでおり、キャリア教育の理解と実践をとおして、一人一人の専門性を高め、目的を全教職員で共有化する組織・体制づくりを行ってきました。そして、これまでの研究の成果を基盤に、平成26年度より3ヶ年の研究に取り組んでいます。

本研究の目的は、本校教育目標「たくましく・ほがらかに・のびやかに活動できる児童生徒の育成」をめざし、児童生徒の在学中や卒業後の豊かな生活を実現するため、キャリア教育の視点を踏まえ、①実態把握、②教育課程と学習内容、③目標設定、④評価の工夫を4本柱とする教育プログラムを構築することです。

前述の研究の1年目となる本年度は、教科教育を中心とした学習活動の充実を全学習グループの共通課題とし、次年度の「実践研究」のための基礎研究に取り組みました。具体的には、“育てたい力”を基盤にした教科別の指導や生活単元学習等の学習内容の見直しやキャリア教育の視点での教育課程の編成、各教科の学習内容表の作成、PATHミーティングを活用した個別の教育支援計画の様式等を再度整理することにしました。

2 実践交流という新たな発表の形の提案

教職員の専門性の向上を図る取組の一つとして、去る1月24日に、実践発表交流会を開催しました。県内の特別支援学校、小・中学校、高等学校、教育関係者、大学生等に広く呼びかけ、121人の参加がありました。本校全教職員による実践レポート58事例、他校からの実践レポート25事例が集まり、それぞれの教育実践をポスター形式で発表し、さらに、初の試みとしてカフェ形式の座談会で意見交換を実施しました。

本校での一人一事例研究の取組は4年目であり、以前は校内研修として実践交流会を行っていました。今回は他の特別支援学校を交え、個人の実践力と専門性の向上、個人間・学校間で積極的な情報交換を行うことができました。県内の特別支援学校が時代の変化や教育的ニーズに応えうる教育課程の編成や学習内容の精選の必要性を感じる中で、同じような課題を抱える教職員、学校にとって有意義な情報交換の場となりました。

3 当日のスケジュール

10:00	10:50	11:00	11:50	12:50	13:00	13:45	13:55	14:40	14:50	15:35
公開授業 (各教室)	移動	開会行事 (会議室)	全体会	昼食	ポスター掲示・参観	移動	実践発表交流会 休憩	休憩	休憩	ARA-SHICafé ～意見交換会～

※ 実践発表交流会：ポスターセッションによる日頃の教育実践の説明や質疑応答の時間

※ ARA-SHICafé：各学校の取組内容や感じている事柄、課題等を持ち寄り、自由に意見交換を行う時間

4 「実践発表交流会」の様子



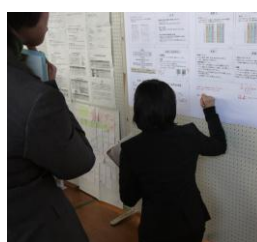
各学習グループの児童生徒作品展示の場



公開授業の様子（高一一般）



実践発表交流会
(セッションの様子)



書き込みをして
自身の指導改善に



実践発表交流会
(会場の様子)



ARA-SHI caféの様子

5 おわりに

キャリア教育を学校経営の柱とし、平成23年度から「キャリア教育の視点を踏まえた学校システムの再考」を研究テーマとして掲げ、平成26年1月には公開研究発表会を開催し、県内外から250名を超える参加者がありました。「県内特別支援学校教育のターニングポイント」と評されるほど高い評価を得たことは、本校教職員にとっては大きな自信となりました。そこで、今年度からはその成果を踏まえて「児童生徒のキャリア発達を支えるARA・SHIの教育プログラム」という研究テーマのもと新たな3年間の歩みを始めました。具体的な指導内容・方法の探求、評価方法の検討、教育課程の再編成など、第1幕の研究をさらに深め、広げることを目的とした実践研究の幕開けです。

今年度はその第1章として、教職員一人一人の実践を検証する年として位置づけ、自己の専門性向上の取組を行ってきました。今年度作成した実践集はそのエキスを集約したものであり、今後展開していく第2章、第3章（完結編）のバイブルとなると確信しています。

また、今年度から2年計画で、県教育委員会が主宰する「学校改革プロジェクト支援事業」への取組もはじめました。学校教育目標の改訂、週4日のノー会議デーの実施や2学期制の導入など、子どもと向き合うための時間の確保や教職員の負担軽減について、抜本的組織改革、授業改革にも取り組んでいます。

本校は、キャリア教育の推進という研究活動とプロジェクト事業推進という2本の柱に支えられ、Simple、Slim、Steady、Speedy、Safety という運営方針により学校教育目標達成の具現化を図っています。簡単でわかりやすい組織のもと、学習指導要領を基盤とした授業づくりを行い、課題に対して迅速に対応することで、安全・安心な学校生活づくりをめざしています。このことが、平成26年から5年間の「第2期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」実現に資するものと信じています。